

2007 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者
体育科教育法		堀野 正彦
授業テーマ 小学校体育科教育における“より良い体育授業のあり方”を探る。		
授業の概要と目標 新学習指導要領のキーワード「生きる力」の内容は①課題解決的学習の推進②豊かな人間性の醸成③健康の保持増進や体力の向上である。体育科の学習指導は、①～③を包含し、「生きる力」の育成に大きくかかわりのある教科である。指導者はこのことを常に認識し、体育科の学習指導の充実に努める必要がある。加えて「活発に運動する者とそうでない者に二極化している」現状を打破し、夢中になって運動に取り組む児童の育成を目指さなければならない。そこで、体育科の各領域内容を熟知し、その指導の在り方を探求する。それを踏まえて学習指導案を作成し、より良い体育授業を追究する。		
評価方法 期末テストにより評価する。 出席状況、講義への意欲的な参加態度、毎時間の小テストも考慮する。		
テキスト 小学校学習指導要領解説 体育編	著者 文部省	出版社 東山書房
参考書 小学校学習指導要領 新学習指導要領による小学校体育の授業 7 考え方・進め方	著者 文部省 代表 杉山重利	出版社 東山書房 大修館書店
授業スケジュール・内容		
1. オリエンテーション	講義についての概要を発表する。「私にとっての体育」のレポートを書き、それを基に、体育科教育の課題についてグループで話し合い発表する。	
2. 学習指導要領と体育科教育	体育科教育における「生きる力」とは何か。体育科教育の考え方、体育科の目標と内容の構成。	
3. 運動領域の内容 (1)	基本の運動の内容とねらい。低・中学年における基本の運動の指導にあたっての留意点。	
4. 運動領域の内容 (2)	ゲームの内容とねらい。低・中学年におけるゲームの内容の指導にあたっての留意点。	
5. 運動領域の内容 (3)	器械運動の内容とねらい。中・高学年における器械運動の指導にあたっての留意点。	
6. 運動領域の内容 (4)	水泳の内容とねらい。中・高学年における水泳の指導にあたっての留意点。	
7. 運動領域の内容 (5)	体づくり運動・陸上運動の内容とねらい。高学年における体づくり運動と陸上運動の指導にあたっての留意点。	
8. 運動領域の内容 (6)	ボール運動・表現運動の内容とねらい。中・高学年におけるボール運動と表現運動の指導にあたっての留意点。	
9. 保健領域の内容	中・高学年における毎日の生活と健康・育ちゆく体とわたし・けがの防止・心の健康・病気の予防の指導にあたっての留意点。	
10. 体育科授業の展開	ビデオを視聴し、学習指導案の様式・書き方について知る。	
11. 体育科学習指導案の作成 (1)	グループで基本の運動遊び（低学年）の内容からひとつ選び、各自が2時間目の学習活動の展開と指導の留意点について考える。	
12. 体育科学習指導案の作成 (2)	各自が考えたものをもとに、グループで十分検討を加える。	
13. 体育科学習指導案の作成 (3)	各グループで指導案を仕上げる。	
14. 体育科学習指導案の作成 (4)	各グループ作成の指導案を発表し話し合う。	
15. 体育科学習指導における留意点	是非身に付けておきたいこと（特に、安全）について知る。	